

たかとき川

2003・Vol.30

特・集

異常気象が日常化し、高時川では渇水の被害が多発
実は今も昔も水不足



天の
矢叫び
も
秋
燃ゆ

丹生ダム広域誌 季刊 たかとき川 2003・Vol.30

発行(株)水資源協会 監修 高時川治水対策協議会 独立行政法人水資源機構 丹生ダム建設所

丹生ダムからのお知らせ

丹生ダムホームページ <http://www.water.go.jp/kansai/niu>

高時川・姉川で、ビワマスの遡上・産卵が、確認されました。

高時川・姉川では、平成15年は10月から11月にかけて、ビワマスの遡上・産卵が確認されました。



ジャンプしているビワマス(体長40cm程度・びわ町内で撮影)

ビワマスは、琵琶湖固有のサケ科の魚です。また、ビワマスは川で生まれ育ち大きくなると琵琶湖で生活します。2~3年後の秋に、川に産卵のために戻ってきます。雨が降った後の増水した川を遡上するので、「アメノウオ」とも呼ばれます。特に、遡上の際に水面から大きくジャンプする姿には、こんなに大きな魚が川を遡るのだと素朴な感動を呼び起こされます。観察できる期間は限られていますが、ぜひ、来年ご覧になってはいかがでしょうか。

記念講演会を開催します

みなさまのご来場をお待ちします。

水資源機構発足記念講演会

~広報誌たかとき川30号を記念して~

日時
平成16年2月28日(土)
午後から(予定)
場所
湖北町文化交流センター
問合せ先
〒529-0522
滋賀県伊香郡余呉町坂口819
独立行政法人
水資源機構 丹生ダム建設所
総務課
TEL.0749-86-3800

EVENT

2月8日(日)~22日(日)

「冬の北国街道で遊ぼう！」

内容/ 今なお風情と面影を残す北国街道宿場町で、雪だるまコンテストなどを開催。格子窓やうだつのある家並みに手作りのユニークな雪だるまが立ち並ぶ。景品の当たるクイズ&スタンプラリーも開催。
場所/ 本之本町本之本 地藏坂および北国街道一帯
問合せ先/ 本之本町観光協会 ☎0749-82-5909
www.ex.biwa.ne.jp/~kino-kan



2月8日(日)

「グルメの集い」

内容/ うなぎのじゃんじゃんを食す(要予約)
場所/ 朝日漁業会館 等
問合せ先/ 湖北町役場産業課 ☎0749-78-1001

11月29日(土)~1月11日(日)

「イルミネーションフェスタ2003」

内容/ イルミネーションツリーおよび周辺街路つけ
場所/ 湖北町役場庁舎前公園
問合せ先/ 湖北町役場企画課 ☎0749-78-1001

QUIZ

このコーナーでは、毎回、クイズに正解された皆さんの中から、抽選で10名様にプレゼントをお送りしています。

今回のクイズは… 渇水時に流水が途切れて、河床が露出してしまふことを何と呼ぶでしょう？

皆さんからのたくさんのご応募をお待ちしています。

【クイズ解答のあて先】

クイズの解答は、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記の上、下記のあて先までハガキでお送りください。また「たかとき川」へのご意見、ご感想等がございましたら、あわせてご記入下さい。

〒529-0522 滋賀県伊香郡余呉町坂口819

独立行政法人 水資源機構 丹生ダム建設所 広報誌クイズ係

*クイズの締切は平成16年1月31日(土)付消印まで有効です。

【たかとき川・29号】のクイズの答え

【597mm】

前号のクイズに多数の御応募ありがとうございました。抽選の結果、下記の方が当選されました。

クイズ当選者(応募総数141枚)

姉川きよ江様 武田みつる様 宮本 光世様 横山 純子様
江熊眞佐子様 林 麗香様 村上比呂子様
大村 敏子様 堀井敬一郎様 山田 智美様

1月10日(土)~3月10日(水)

「浅井盆梅展」

内容/ 樹齢数百年を越える大きな鉢植えの梅を約60鉢展示します。会場内は初春を感じるふくよかな香りで包まれます。
場所/ 浅井ふれあいの里・プラザふくらの森
問合せ先/ 浅井ふれあいの里・プラザふくらの里 ☎0749-74-8282

1月10日(土)~3月10日(水)

「長浜盆梅展」

内容/ 湖国の早春を彩る風物詩。盆梅とは文字どおり梅の盆栽であるが、長浜盆梅展では2メートル以上の巨木や樹齢100年を超える古木など他所では見られない銘木が展示される。
場所/ 長浜市慶雲館、梅の館
問合せ先/ 長浜市商工観光課 ☎0749-62-4111



1月15日(木)~4月18日(日)

「大通寺あせび展」

内容/ 全国でも珍しい馬酔木の盆栽展。約100鉢展示される。ピンクや白色の房状の花をつける馬酔木はとも愛らしく、慶雲館の盆梅展と並び長浜の早春の風物詩になっている。
場所/ 大通寺
問合せ先/ 大通寺 ☎0749-62-0054

10月19日(日)

「賤ヶ岳天下とりまつりが開催されました。」



420年前天下分け目の「賤ヶ岳の戦い」や、木之本本地蔵院の門前町として栄え、今なお風情と面影を残す「北国街道木之本宿」の歴史・文化の再発見と街の活性化のために「賤ヶ岳天下とりまつり」が行われました。

当日は、中学生による商売体験や賤ヶ岳の戦いの寸劇を交えた小学生主体の武者行列、さらに北国街道のお宝拝見、木之本町の特産品開発につながる物産展や地域通貨を使った福祉イベントなど、地域関係者や住民がひとつになってこのまつりを盛り上げ、楽しさがあふれる活気のある一日になりました。また、臨時列車の琵琶湖環状線「北びわこ号」が木之本駅に停車するなど、県内外から多くの人出で会場が混雑するほどに賑わいました。

編集後記

水は人の生活にとってかけがえのないもの。本誌でもわかるように水を巡る問題は、雨量の多い日本でさえ、深刻かつ身近なところで起きています。近年は、特に異常気象と叫ばれているように、渇水が頻繁になってきていて、私たちの生活に様々な苦勞を強いています。水の大切さは、今回の高時川の瀬切れの特集からも再度実感できました。私は天竜川の河口付近に生まれ育ち、水には不自由なく暮らしていたのですが、生命に係わる水の恵に改めて感謝するばかりです。

俳句/天正の 矢叫びかとも 紅葉燃ゆ
表紙撮影/賤ヶ岳から余呉湖を望む・奥村正利